

在宅医療における薬剤師の役割

金安薬局中園店

宮前 彰彦

2017年10月14日（土）深川市経済センター

地域包括ケアに携わる多職種合同研修会
第50回北空知介護支援専門員連絡協議会研修会



本音で地域連携の
あり方を検討する会

医師・歯科医師

薬剤師

看護師



本音で地域連携の
あり方を検討する会

介護・
ほかの介護スタッフ

マネージャー

PT・OT・ST
ほかの医療スタッフ



本音で地域連携の
あり方を検討する会

Personal

Powerful &

Active

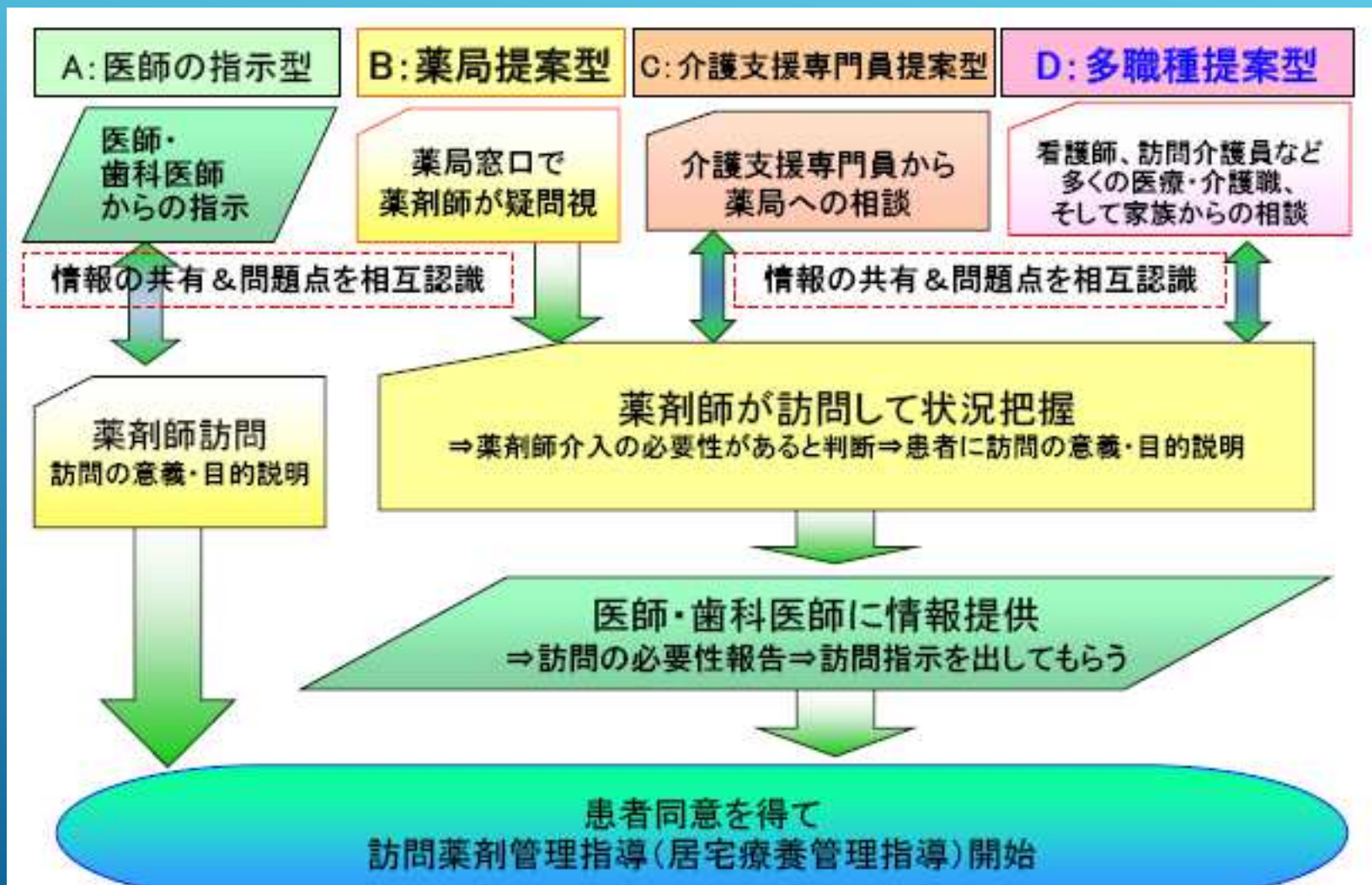
Professional



私の行っていること

- 良いことは模倣する
- NOと言わない
- 会への出席（縁作り）
- 連携のための
コミュニケーション

居宅療養に関する実施パターン



残薬写真

熊本県(株)ファーマダイワ提供



残薬写真集

熊本県(株)ファーマダイワ提供



薬のセット



薬のセット

服用チェック表	
あさ	/ / / / / / / / / / / /
ひる	
よる	
おる前	

薬のセット

服用チェック表	
あさ	/ / / / / / / / / / / /
ひる	
よる	
おる前	

薬のセット

服用チェック表	
あさ	/ / / / / / / / / / / /
ひる	
よる	
おる前	

薬のセット

服用チェック表	
あさ	/ / / / / / / / / / / /
ひる	
よる	
おる前	



薬の一包化



日付・曜日・病院名・薬品名など記入できます。

色付きの線をいれたり、マークを入れたりもします。



残薬チェック・調製



- * 医師と相談の上で必要なお薬は一包化等をして服用しやすくします。
- * 医師と相談の上で不必要なお薬は廃棄します。
- * 患者さんの適切な治療につながり、医療費の削減にもなります。



無菌調剤 (経口ルート以外の輸液製剤や麻薬製剤等の無菌調剤設備を用いた製剤の提供)



ON ON ON
OFF OFF OFF
FAN LIGHT LAMP



注意
この装置は、生物学的、化学的、放射線学的な危険物質を扱うために設計されています。この装置を使用する際には、必ず取扱説明書を読み、安全に使用してください。

無菌製剤処理



居宅療養管理指導に入って

- ・ 自室にてサービス担当者会議の実施

**言いたいことの言える関係！
これこそが、うまくいく秘訣！！**

- ・ 最後は・・・

薬剤師会で取り組んでいること

- 在宅推進活動
- 退院時連携
- 多職種連携
- 検討会の実施
(訪問薬剤指導推進事業ほか)

第61回 北海道薬学大会（ポスター発表）
日時：平成26年5月25日（日）
場所：札幌コンベンションセンター

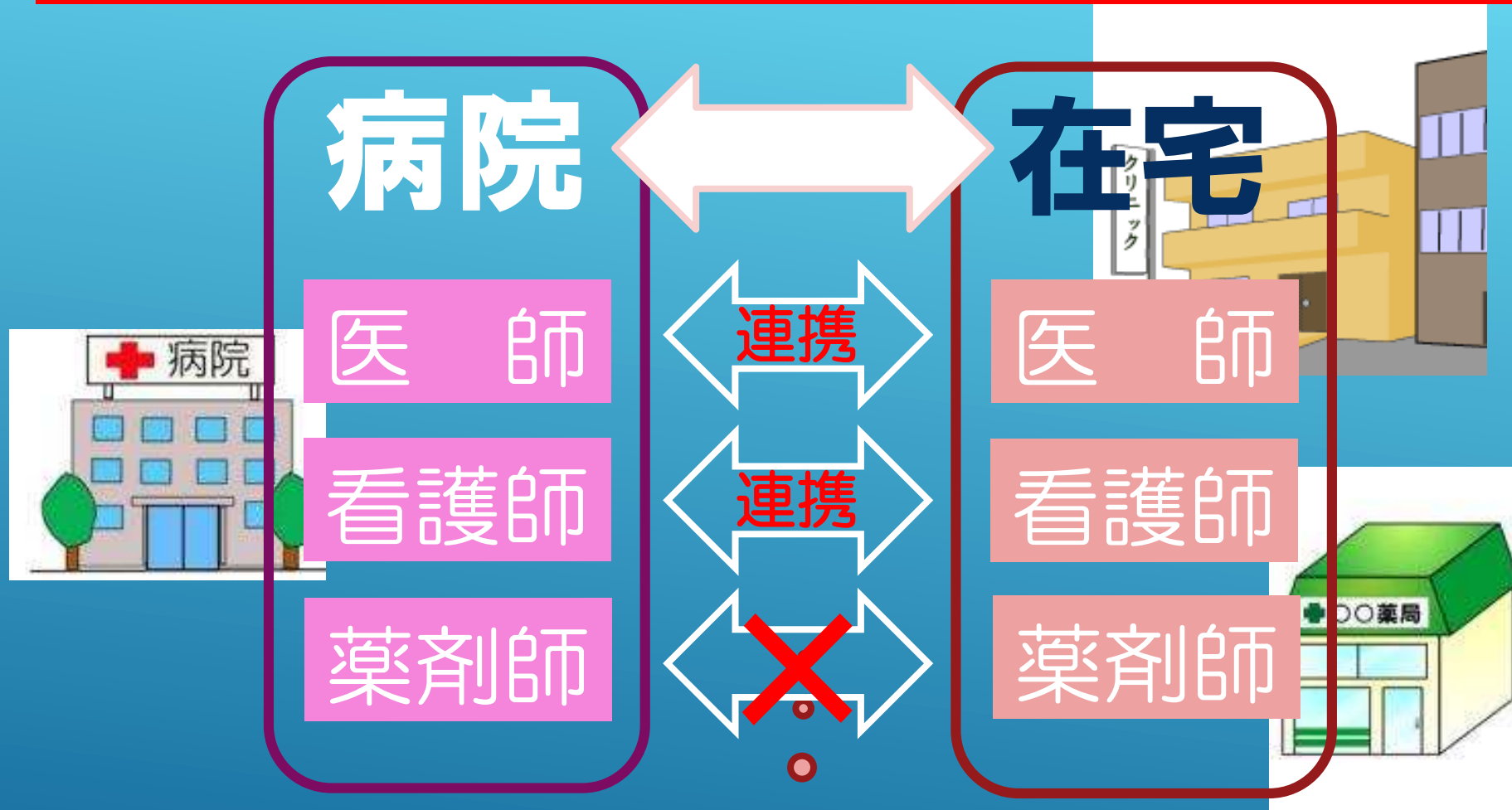


在宅用モルヒネ塩酸塩注射液 開始に向けた薬薬連携の実例

釧路赤十字病院 薬剤部
釧路薬剤師会（在宅医療福祉委員会）

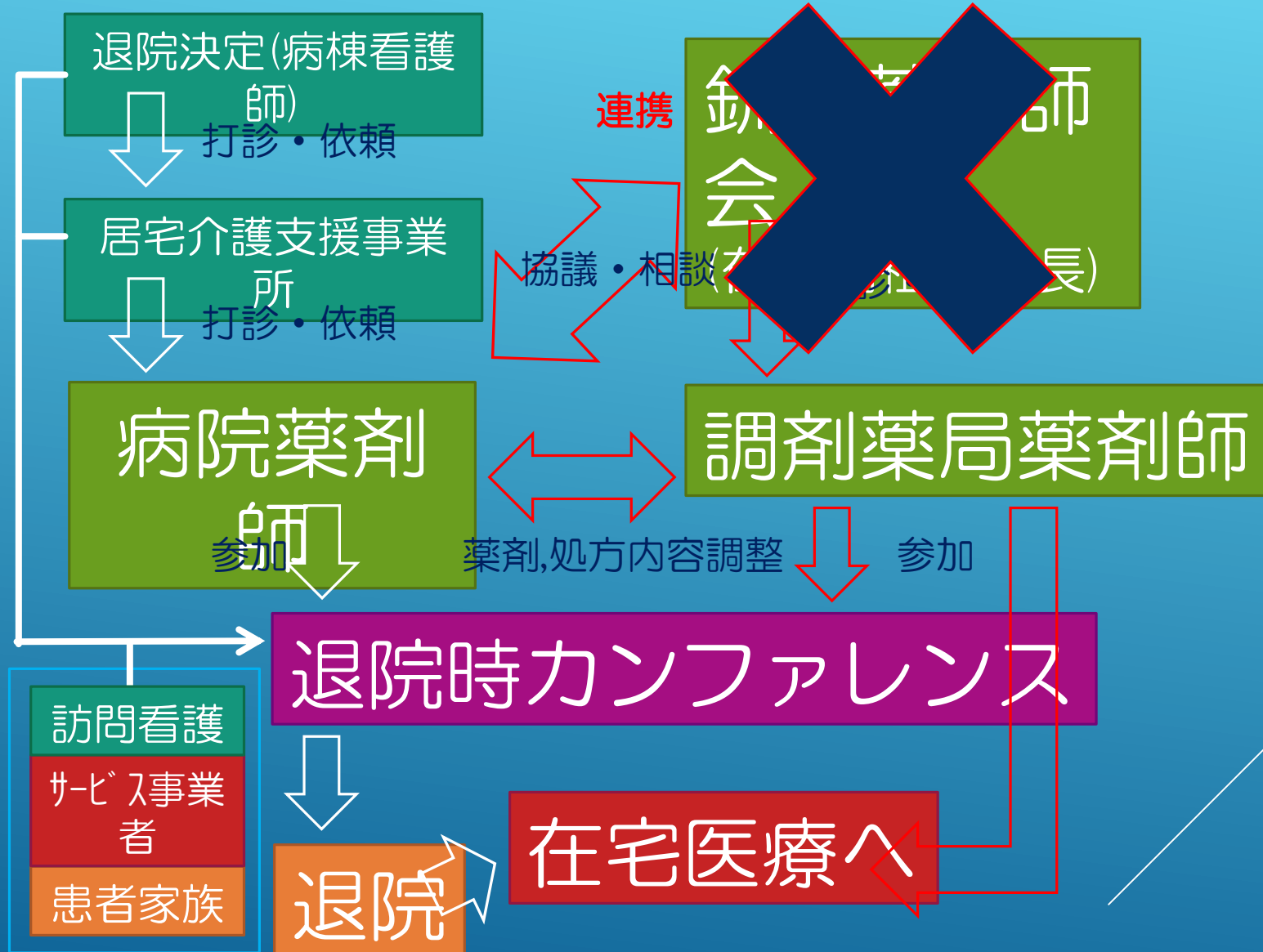
渡邊清人 千田泰健
宮前彰彦 石川智一

在宅医療の現状



薬剤師間の連携は？

退院時連携の流れ



北海道補助事業 平成26年度訪問薬剤指導
第1回検討会議 会議要旨



第1回

- 1) 日 時：平成26年12月9日（火）13:30～21:00
- 2) 場 所：釧路市生涯学習センター（まがねのつと幣舞） 602室
- 3) 出 席：委員18名
杉元重治（釧路市医師会・杉元内科医院）
岡田実継（釧路市歯科医師会・おかだ歯科）
黒川薫（道東勤医協 訪問看護ステーションすこやか）
車谷香織（北海道総合在宅ケア事業団 釧路地域訪問看護ステーション）
望月誠（釧路協立病院）
是安久江（あいけあ釧路ケアプランセンター）
金森泰夫（道東勤医協 ひまわり居宅介護支援事業部）
桶谷礼可（老健たいよう）
松木美穂（釧路市保健所）
福島隆一（釧路市保健所）
細川克裕（釧路市東部南地域包括支援センター）
伊藤靖代（釧路市東部北地域包括支援センター）
藤田義信、菅野史朗、福田健吾、米原健秀、宮前彰彦（釧路薬剤師会）
オブザーバー：長尾 拓二、阿部 憲雄（釧路薬剤師会副会長）

釧路は！連携できていますよ！

在宅医療連携拠点事業

24年度予算 2,058百万円 (H23 109百万円)
 重点化分 1,010百万円
 復旧・復興分 1,048百万円

本事業の目的は、高齢化に伴い在宅医療の需要が増える中、在宅医療の提供が困難な地域において、在宅医療の提供を支援し、在宅医療の提供を促進することです。また、在宅医療の提供を促進するため、在宅医療の提供を支援し、在宅医療の提供を促進することです。

なぜ増えなさい？



検討会の流れ

- 症例提示
- 忌憚のないご意見下さい
- 皆様全員から意見下さい
- 同行訪問実施
→ 次回の検討会にて報告

番茶の味



(18682)

在宅医療と薬剤師

高齢化が進み、2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、全国の人口の5人に1人は75歳以上となる計算です。医療と介護で大きな課題となります。そのため在宅医療の整備は急務で、ここで最も大切なのはチーム医療だと思います。

医師、歯科医師、看護師、介護スタッフ、ケアマネジャー等の皆様との連携が必要であり、薬のプロとして機能を発揮し、薬局内に居るだけでなく、在宅の現場に行く時代がきました。「顔の見える本当の意味の連携が大事」と尊敬する医師が教えてくれました。その言葉を胸に邁進してまいります。

宮 前 彰 彦

(釧路薬剤師会理事)

連携のためのコツ

●会に参加し、**縁**作り



本音で地域連携の
あり方を検討する会

●顔の見える関係作り！！

●薬の事は薬剤師に！！！！

●困ったら皆で考えよう！

★Let's **多職酒**連携！

医師・歯科医師

薬剤師

看護師

心のつながる関係作り

介護・ヘルパー
ほかの介護スタッフ

ケア
マネジャー

PT・OT・ST
ほかの医療スタッフ



ご清聴ありがとうございました

